

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第1回高松市創造都市推進懇談会
開催日時	平成24年11月30日(金) 18時30分～20時40分
開催場所	四番丁スクエア 会議室
議 題	(1) 会長・副会長の選任について (2) 高松らしい創造都市像について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	人見会長，甘利副会長，中筋委員，中田委員 花澤委員，英委員，鎌田委員，長田委員，香西委員 西成委員，星島委員，山家委員
傍 聴 者	0 人      (定員 5 人)
担当課および連絡先	商工労政課商工係 8 3 9 - 2 4 1 1

### 審議経過および審議結果

#### (1) 会長・副会長の選任について

事務局から会長の選任について意見を求めたところ、人見委員を推挙する意見が出され、全員一致で了承された。

副会長については、会長が甘利委員を指名した。

#### (2) 高松らしい創造都市像について

事務局から、資料に基づき、創造都市の概念や高松市創造都市推進懇談会の位置付け等について説明した。

(会 長)

ただ今の事務局の説明について、委員の皆さんから意見等はあるか。

(委 員)

この懇談会は、多様な分野の方の集まりなので、議論をしやすくするために、ゴールのイメージを共有した方が良いのではないか。

観光客を増やしたいのか、定住人口を増やしたいのか、既に住んでいる我々がより楽しく過ごせるようにしたいのか、人口流出を減らしたいのか、今ゴールのイメージがあれば教えていただきたい。

(事務局)

ゴールは、定住人口の増加・交流人口の増加・人口流出の防止であると考え。効果が一番弱いのが人口流出の防止で、もう少し良くなると交流人口が増え、もっと良くなれば外から来た人に定住してもらえようになり、最終的に目指すのはそこである。人に来てもらうためには、そこで食べて生活していける環境、働けるような産業振興が必要。

これまでのような大企業を誘致しての雇用創出も良いが、地場産業を上手く活性化させて、好循環を生んでいくような、地場の産業を横につ

## 審議経過および審議結果

ないでいく創造性が必要なのではないか。高松という都市が注目されて、創造的な人達が仕事場として高松を選んでくれて、それに引き寄せられて、その他の人達も来てくれるような都市になるみたいなイメージである。

(会長)

「羨望と尊敬」という言葉を耳にしたことがあるが、創造都市は、羨望される都市ではなく、尊敬を集める都市なのではないか。我々の年代の特徴として、何となく横のつながりや、全体的なまとまりに欠けているような気がする。良く言えば多様性が有り、悪く言えば価値観の共有ができていない。そのような意味も含めて、グループ討議では、各自の専門分野の話しをしていただき、その中で共通する部分は何なのかを意識しながら進めて欲しい。

それでは、4人ずつA～Cの3グループに分かれて、15分ずつのグループ討議を3回行い、その後15分で発表を行う。

### 【グループ討議】

(会長)

それでは、Aグループから発表をお願いします。

(Aグループ)

- ・若者に、香川県は良い都市だと思う心を持たせることが大事。
- ・滋賀県の方は、琵琶湖を誇りに感じているのに、香川県の若者は、瀬戸内海が障害だと感じている人が多いのではないか。
- ・香川県には、良いポテンシャルがたくさんあるので、それを良いと思えば、自然と自慢してしまう皆の心を作ることができれば良いのではないか。

(Bグループ)

- ・高松市には、音楽に対するアンテナがかなり鋭い人が多い。バンド活動も盛んである。
- ・流行に敏感であるが、熱が冷めると下火になるのが早いという県民性がある。
- ・良い事をしていても継続が難しい傾向が見られるので、継続するための策を練ることが大事なのではないか。
- ・香川県には謙虚な人が多いのではないか。
- ・香川県は日本一小さい県であるが、人口当りのピアノの保有率が全国トップレベルであるなど、全国に誇れるものが意外と多い。
- ・各分野の方が面白いことをたくさんやっているのだから、これが高松の文化であるという発信ができれば、もっと良い都市になっていくのではないか。

(Cグループ)

- ・昔の高松市は、四国の玄関口として、岡山県からフェリーで人がたくさん来るといった流れがあり、宿泊客も多く、食事をする場所もたくさんあり、自然に交流人口が増えていた。それが、瀬戸大橋開通後に流れが変わり、高松は素通りをされ、宇高連絡航路も減り、交流人口が自然に増えることはもう無いだろう。
- ・元気な都市を作ろうとして、そこに人を集めるのであれば、フェリーに変わるような魅力が必要なのではないか。

- ・港付近にバスケのコート，サッカー場，野球場があれば，試合日には交流人口が増えて，それを中心に飲食店が増えることが考えられる。もう少し港から離れて，屋島の夜景や世界に通じる盆栽などのコンテンツも人を惹きつけるのではないか。
- ・高松の人達は，保守的でそう簡単には動かない。良い物を見極めてそこにお金を投資するという，四国の中では飛び抜けて優秀な面もあるが，ミーハーですぐ飽きる。我々の県民性・市民性は，非常にやっかいであると思われる。
- ・香川県のお茶が，日本でも有数なぐらい浸透していることや，スポーツ，建築，美術の良い部分を高松市民が知らない。県外の方は更に知らない。そういう情報をもっと知る，知らしめるような工夫が必要である。

(会 長)

3グループの発表を聞いて，事務局の感想はどうか。

(事務局)

創造都市推進ビジョンも大事だが，具体的にやりたいことを出していただければ，スピーディに対応したいと思う。今，ちょうど予算編成時期なので，何か形になるようなものができて間に合えば，25年度当初予算案に盛り込みたい。

(委 員)

具体的に何日までなら，来年度予算に間に合うのか。

(事務局)

1月中旬までに，やりたいことがまとまればそれに答えたい。

(会 長)

今日感じた事は，まだ全体的に皆が気を使い，上辺の話し合いになっている。せっかく各分野の専門的な方が集まっているので，もっと自分の専門分野の話しをしても良いのではないか。

他に御意見等あるか。

(委 員)

私は現在，「瀬戸内グッドライフネットワーク」というプロジェクトを進めている。東京のVIPの方に，香川県で週末を過ごしてもらおうというプロジェクトで，第1回目のツアーを10月中旬に開催し，非常に好評であった。

高松を舞台にした小説「海辺のカフカ」の村上春樹さんと取り組んでいる「甲村図書館プロジェクト」も進行中で，その中では，高松市に図書館を建てたいという意見や，京都の恵文社の方に本をセレクトしてもらい，宿泊施設・バー・ミニシアターを作り，世界中から人に来てもらえるような文化発信の何かを作りたいという意見もある。

例えば，神山のアーティスト・イン・レジデンスのように，作家が香川県で作品を作る場合には，宿泊施設を2～3週間無料にするという計画を立てている。

また，本広監督と一緒に，讃岐映画祭のプログラムを決めている最中でもある。讃岐映画祭は，香川県の事業なので，広い範囲でまんべんなく映画を上映しなければならないという問題がある。範囲が広すぎると祭りにならず，ただの映画の上映になる。

東京の有名なクリエイターや声優とやりとりをしているが、香川県でうどんを食べることができたら、無料で香川県に来てくれるという方が多い。今後もクリエイターが高松市に来て、香川県を案内する機会があるので、皆さんの力で魅力が伝えられる施策があれば教えてほしい。

(委員)

1月中旬までに何ができるか、具体的なことについて、1歩でも進めたい。とりあえず今はそれぞれの専門分野の方が集まっているが、全員で何かをやるのは難しいのではないか。まずはやりたい人のチームを作るのはどうか。

将来出来ることと、今すぐできることに分けて、アイデアを出してはどうか。

(委員)

もう1回この懇談会を開いて議論しても、何もまとまらないで終わるような気がする。

高松市にも「俺はこれで高松を元気にしたい」という人が、たくさんいると思う。昔、起業家が一生懸命プレゼンをして、審査員の投資家が面白いと思えば出資するという内容のテレビ番組が放送されていた。例えば、高松市でフォーラム的なものを作り、そこに公募型で年に3～4回誰でもプレゼンができる。まずは書面審査で、その次に市長以下が審査をして、通れば何らかのかたちで行政からの支援を受けられる。例え通らなくても、起業家の熱い思いが書面やプレゼンを通じて、パブリックに伝えられる。そういう仕組みを作れたら素敵だと思う。

(会長)

その他に事務局から連絡事項はあるか。

(事務局)

2月24日(日)に、創造都市のシンポジウムを開催するので、委員の皆様にも是非御参加いただきたい。場所は、サンポートの第1小ホールで、時間は13時半から16時半。創造都市に関する専門家の先生の講演等を予定しているので、今後の参考にしていただきたい。

また、この懇談会は要綱で設置した組織で、現在の委員は16人である。上限は20人なので、皆様の知り合いで是非参加したいという方がいれば、紹介していただきたい。

次回の懇談会は、日程調整をし、決定次第連絡させていただく。

それでは、以上で閉会する。

ありがとうございました。

以上